

令和8年度芸備線再構築方針作成等に関する 調査事業(方針作成等調査事業)実施状況

令和8年5月14日

国土交通省 中国運輸局

4～6月は、昨年度に引き続いて列車調査・二次交通調査を行いつつ、
6月からは並行して、実証Bのバス調査・列車調査を開始する

調査事業の想定実施内容 (1/3)

#	仕様書項目	実施内容	実施時期	想定する成果物
(1) 実証事業A・実証事業Bを補完するデータの収集				
①	実証事業Aを補完するデータの収集	列車調査 (特定日・特定列車対象)	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業A期間中の芸備線利用者数データ 芸備線利用者に対するアンケート調査結果
		二次交通調査 (特定日対象)	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業A期間中の二次交通利用者数データ 二次交通利用者に対するアンケート調査結果
②	実証事業Bを補完するデータの収集	バス調査 (対象日・対象便調整中)	6月～9月	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業B期間中の実証バス利用者数データ バス利用者に対するアンケート調査結果
		列車調査 (対象日・対象便調整中)	6月～9月	<ul style="list-style-type: none"> 並行して運行中の芸備線利用者数データ (※6月は①と一体的に調査) 並行して運行中の芸備線利用者に対するアンケート調査結果 (※6月は①と一体的に調査)

11月頃の第8回芸備線再構築協議会で、再構築方針の骨子案が提示されることを見据え、
実証A・Bと並行して、年度当初から比較検討に関する調査を開始したい

調査事業の想定実施内容 (2/3)

#	仕様書項目	実施内容	実施時期	想定する成果物
(2) 地域経済効果の比較検討等による総合的な分析				
①	地域経済効果の比較検討	地域経済効果の比較検討手法の整理	4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済効果の比較検討手法 実証事業Bを補完するデータの収集方針
		実証事業Aの地域経済効果の更新	7月	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業Aの地域経済効果 (更新版)
		実証事業Bの地域経済効果の算出	9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業Bの地域経済効果
		再構築費用の精査	5月～8月	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道として再構築を行う場合の費用 (更新版) バスとして再構築を行う場合の費用 (更新版)
②	最適な交通モードの判断に当たっての論点整理	比較検討対象とする交通モードの整理	5月～8月	<ul style="list-style-type: none"> 比較検討対象とする交通モード 各交通モードの他地域事例 (必要に応じて適宜収集)
		比較検討の論点整理	4月～8月	<ul style="list-style-type: none"> 比較検討の論点 比較検討の手法 比較検討の他地域事例 (必要に応じて適宜収集)

11月頃の第8回協議会に向けて、再構築方針の骨子案を検討・提示し、協議会・幹事会での議論を踏まえて、3月にかけて内容の更新を進める

調査事業の想定実施内容 (3/3)

#	仕様書項目	実施内容	実施時期	想定する成果物
(3) 再構築方針案の提案				
		再構築方針案の記載項目の整理	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> 再構築方針案の記載項目
		モード間の比較検討	8月～10月	<ul style="list-style-type: none"> 比較検討結果
		再構築方針の骨子案の提案	8月～11月	<ul style="list-style-type: none"> 再構築方針の骨子案
		再構築方針の骨子案の加筆修正	2月	<ul style="list-style-type: none"> 再構築方針案
(4) 協議会・幹事会の運営事務補助				
		協議会・幹事会の資料作成補助、速記、議事録作成	協議会・幹事会の都度	<ul style="list-style-type: none"> 協議会、幹事会資料 協議会、幹事会速記、議事録
(5) 取得データと総合的な分析結果等報告書の作成				
		報告書の取りまとめ	3月	<ul style="list-style-type: none"> 報告書

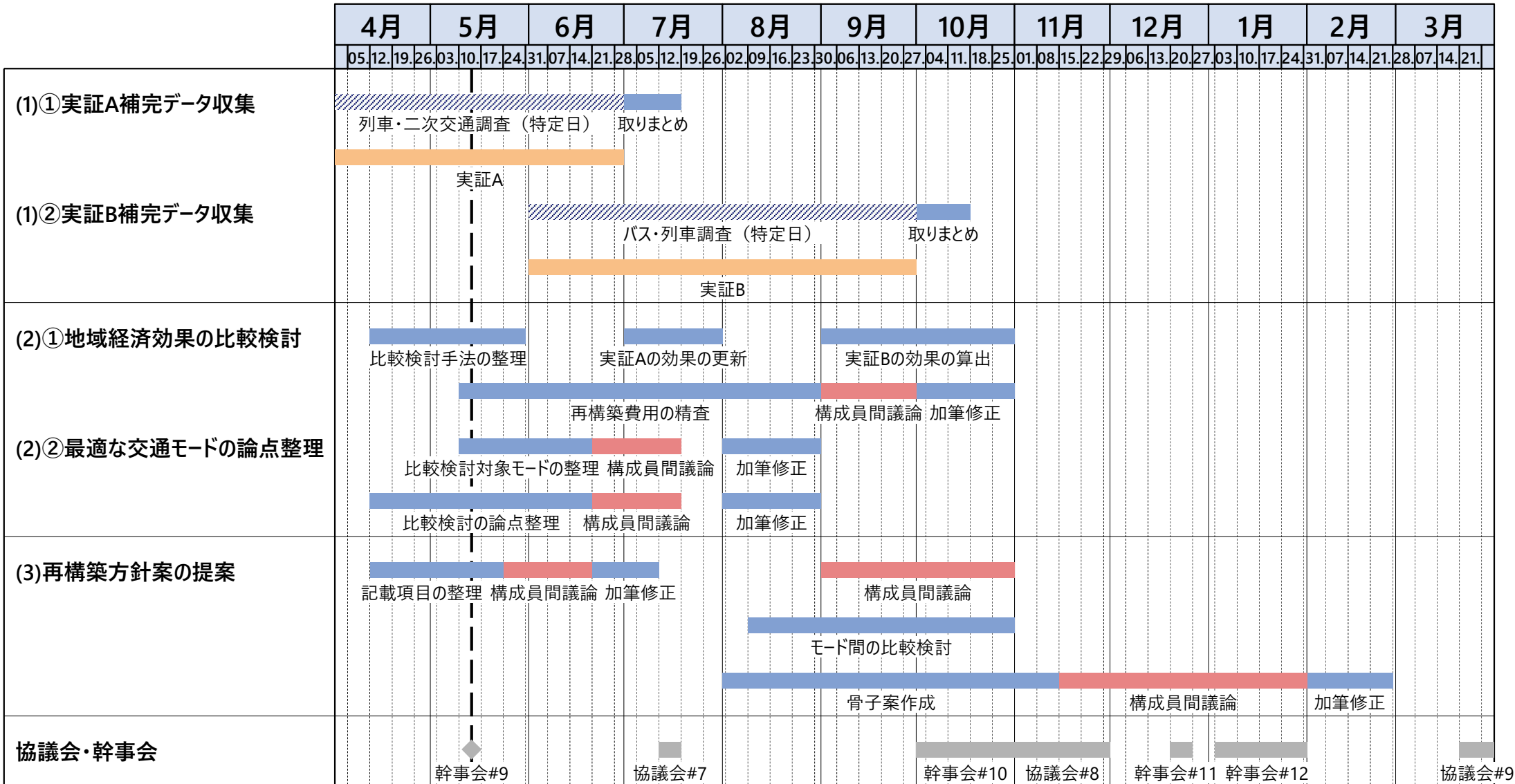
スケジュール

調査実施スケジュール ※議論の進捗に応じて適宜見直す

主に調査受託者が実施

主に構成員が実施

主に実証事業ABで実施



▲
本日

11月頃の協議会に向けて再構築方針の骨子案を提示することを目標に、 各種調査・検討を進める

協議会・幹事会での報告内容（案）

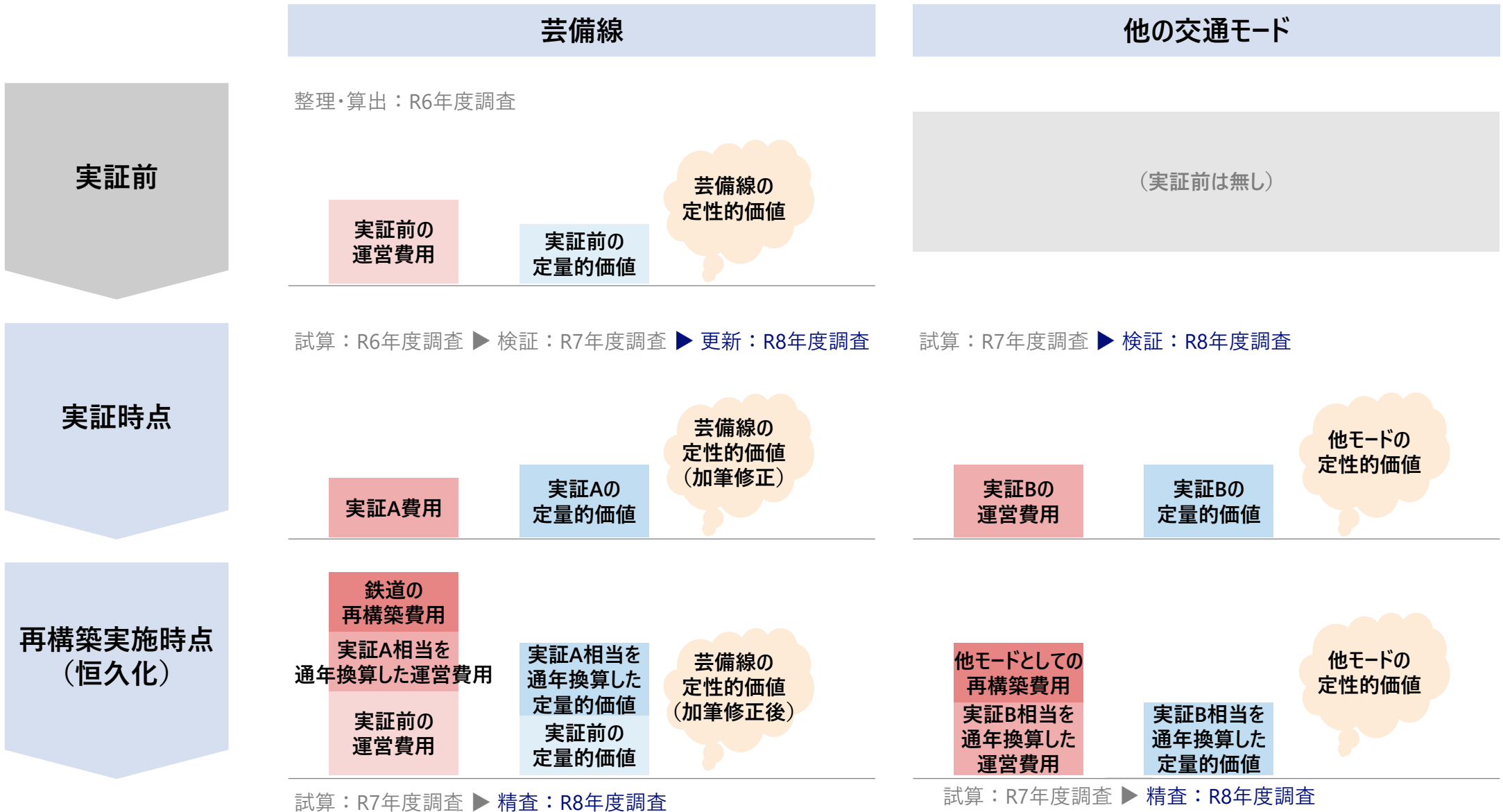
会議体	(1)① 実証A補完データ収集	(1)② 実証B補完データ収集	(2)① 地域経済効果の 比較検討	(2)② 最適な交通 モードの論点整理	(3) 再構築方針案の提案
5月幹事会	・今後の進め方	・今後の進め方	・今後の進め方 ・比較検討手法の考え方	・今後の進め方	・今後の進め方
7月協議会	・列車・二次交通調査結果	・バス・列車調査結果 (中間報告)	・実証Aの総括	・比較検討対象モード ・比較検討の論点	・(加筆修正を適宜報告)
10月幹事会	・—	・バス・列車調査結果 (最終報告)	・実証Bの総括 ※実証期間次第で 後ろ倒しの可能性あり ・地域経済効果の比較検討	・(加筆修正を適宜報告)	・比較検討(中間報告)
11月協議会	・—	・同上	・同上	・同上	・比較検討(最終報告) ・再構築方針の骨子案
12月幹事会	・—	・—	・—	・—	・—
1月幹事会	・—	・—	・—	・—	・—
3月協議会	・—	・—	・—	・—	・再構築方針案

12月幹事会・1月幹事会は、構成員間議論の場として、調査事業としての報告は行わない想定
(加筆修正は、構成員間議論の結果を踏まえて、1～3月に集中的に行う)

地域経済効果の比較検討 | 実証A・Bの費用・効果を比較検討する手法

実証A・Bを通して、「実証A相当の恒久化」と「実証B相当の恒久化」について費用・効果を算出する

費用・効果の比較検討の流れ ※大きさはあくまでイメージ

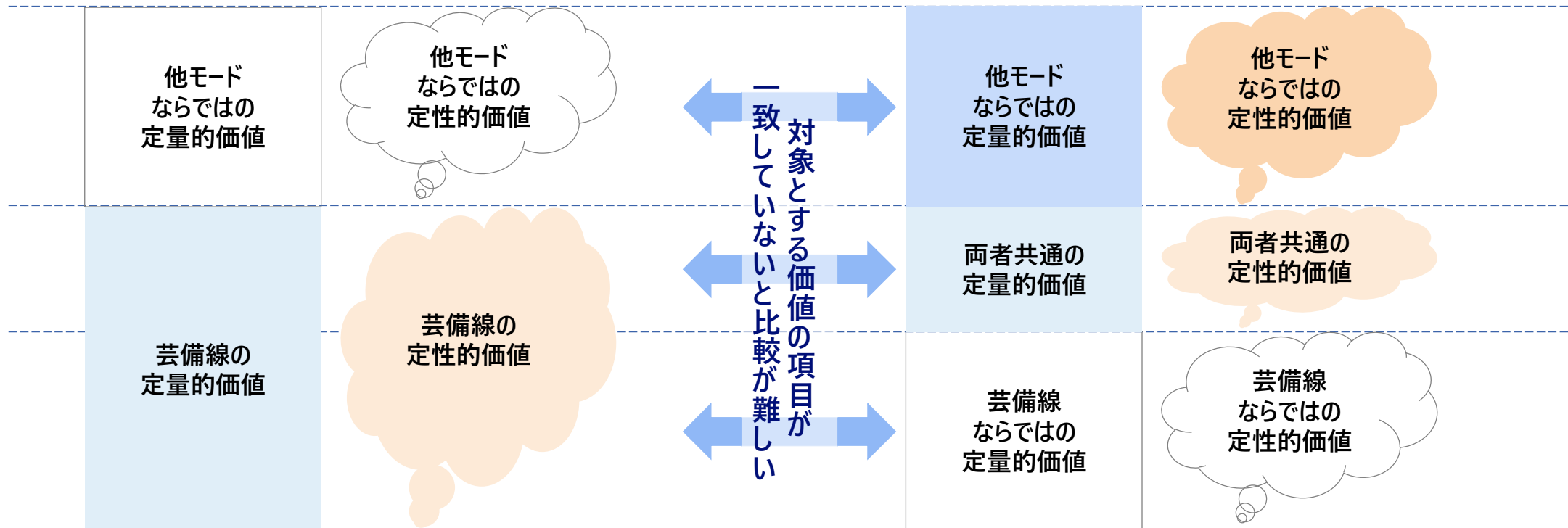


「実証A相当」と「実証B相当」で比較検討を行うためには、
実証A・Bで検証する価値の項目を可能な限り合わせる必要がある

価値の側面についての比較検討

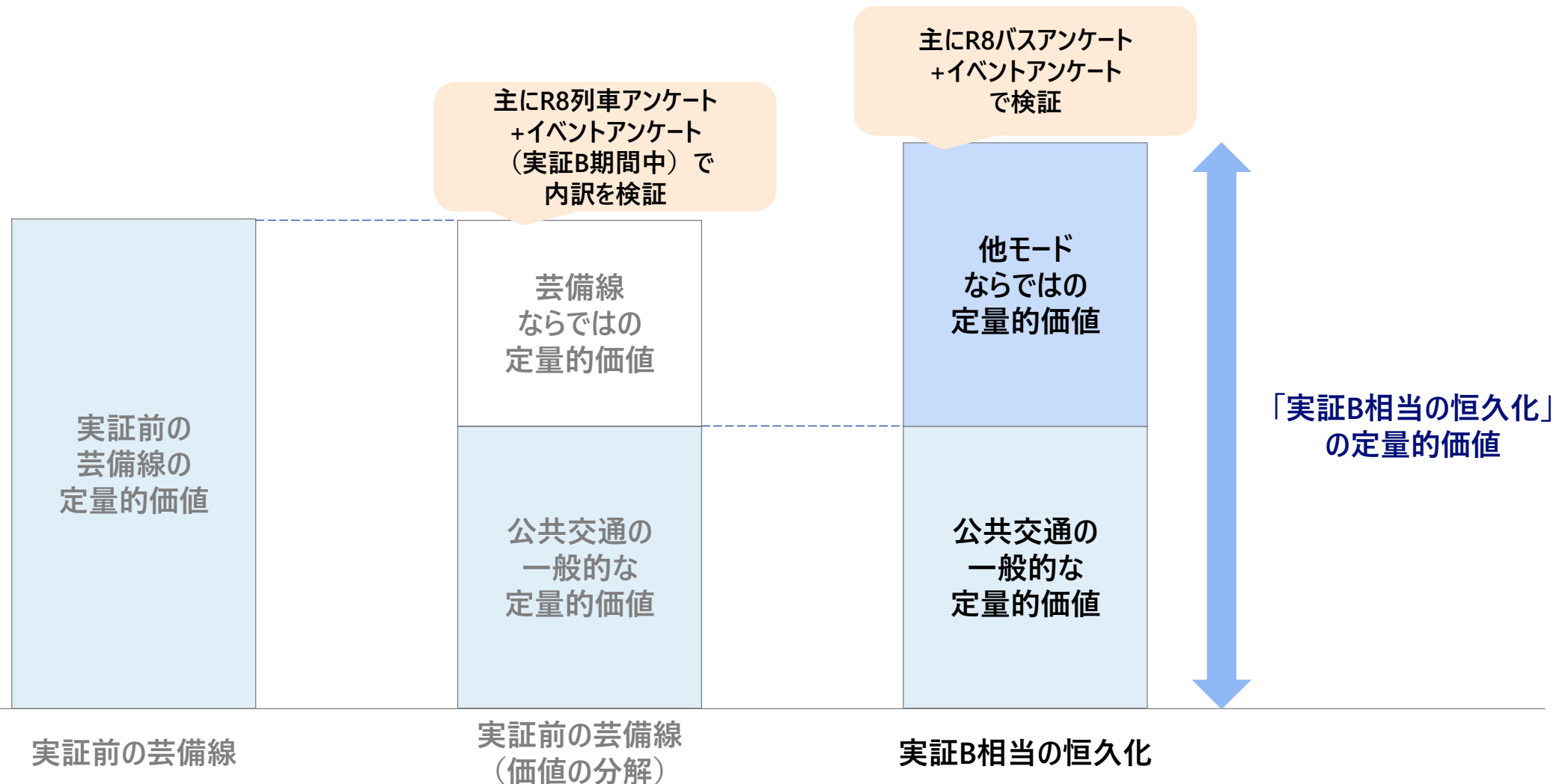
実証A相当の恒久化（芸備線）

実証B相当の恒久化（他の交通モード）



「実証B相当」の定量的価値は、「実証前の芸備線」から「芸備線ならではの定量的価値」を差し引き、「他モードならではの定量的価値」を足すことで算出する

「実証B相当の恒久化」の定量的価値の算出イメージ



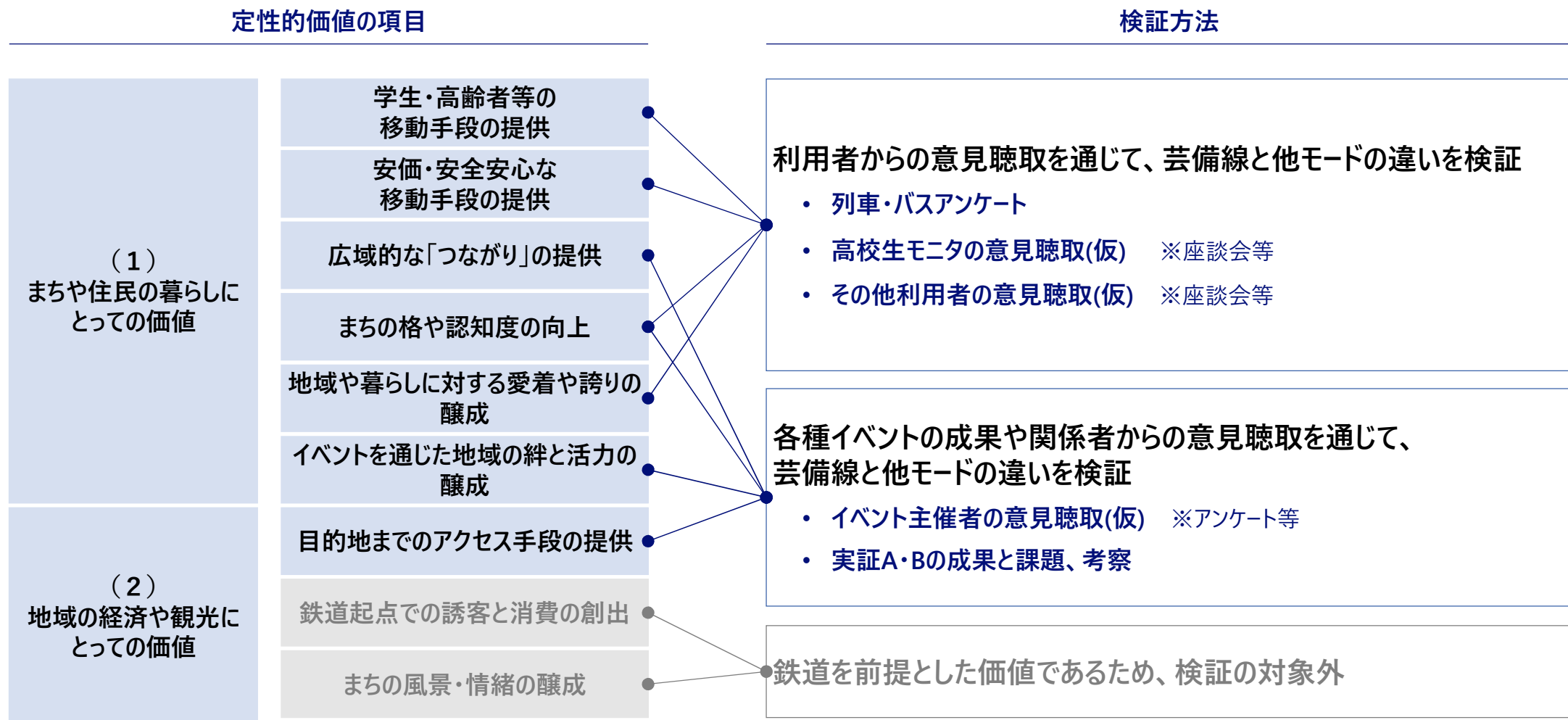
実証Bでは、基本的にR6年度に整理した「定量的価値」の各項目を検証するとともに、「実証前の芸備線」の一部の価値を精査する

定量的価値の項目（R6年度整理）と検証対象

項目	「実証前の芸備線」の算出対象	実証Aの検証対象	実証Bの検証対象
①鉄道・バス営業収入（運輸収入）	○	○	○
②鉄道・バス営業収入（運輸付帯収入、雑収）	（僅少なため対象外）	（僅少なため対象外）	（僅少なため対象外）
③他の交通手段への波及	○	○	○
④芸備線利用者に対する便益	○	○	○
⑤芸備線利用者以外（送迎者等）に対する便益	○	○	実証Bアンケートで検証
⑥芸備線利用者（住民）による消費の経済波及効果	実証Bアンケートを活用し 精査を予定	○	○
⑦芸備線を利用した来訪者（観光客・ビジネス客）による消費の経済波及効果	○	○	○
※イベント収入	（対象外）	○	○
※芸備線を利用した来訪者（観光客・ビジネス客）による2県2市以外での消費の経済波及効果	（対象外）	参考データとして、2県2市外での消費額を聴取	参考データとして、2県2市外での消費額を聴取

定性的価値については、アンケート結果や実証成果に加えて、高校生モニタの意見聴取(仮)、その他利用者の意見聴取(仮)、イベント主催者の意見聴取(仮)も踏まえ、鉄道とバスの違いを検証する

定性的価値の項目 (R6年度・R7年度整理) と検証方法



列車アンケート調査は、「芸備線ならではの（他モードでは発現しない）定量的価値」を精査できるよう、一部設問について追加・削除を行う

- アンケート名は「芸備線のご利用に関するアンケート」、クレジットは「芸備線再構築協議会」とする。
- 列車内で回答する負荷を踏まえて、A4で片面2ページ以内、番号選択式とする。
 - スペースの都合上、芸備線を利用したきっかけ、観光や宿泊の有無については削除とする。

調査項目案 ※検討中

新規設問

#	質問文	補足
1	ご自宅のエリアを教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
2	本日の外出の目的を教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
3	芸備線の乗車区間を教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
4	今回の外出において、庄原市・新見市エリアで使う金額を教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
5	今回の一連の外出において、庄原市・新見市以外の広島県・岡山県エリアで使う金額を教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
6	本日芸備線で使ったきっぷを教えてください。	・ 昨年度アンケートと同様。
7	もしこの列車が運休していたらどのように対応していましたか。	・ 昨年度アンケートと同様。
8	もし芸備線がバスで運行されていたとしたらどのように対応しましたか。	・ 設問を追加。選択肢は「バス／一般タクシー／自家用車／レンタカー／送迎／外出取りやめ／県内の他地域へ外出／県外の他地域へ外出」とする。
9	もし芸備線も代替バスも存在しなかったとしたらどのように対応しましたか。	・ 設問を追加。選択肢は「バス／一般タクシー／自家用車／レンタカー／送迎／外出取りやめ／県内の他地域へ外出／県外の他地域へ外出／その他」とする。

バスアンケート調査は、「他モードならでの（芸備線では発現しない）定量的価値」を検証できるよう設計する

- アンケート名は「バスのご利用に関するアンケート」、クレジットは「芸備線再構築協議会」とする。
- バス車内で回答する負荷を踏まえて、A4で片面2ページ以内、番号選択式とする。

調査項目案 ※検討中

新規設問

#	質問文	補足
1	ご自宅のエリアを教えてください。	• 列車アンケート同様。
2	本日の外出の目的を教えてください。	• 列車アンケートの問2の選択肢に「バスへの乗車」を追加。
3	今回の外出において、庄原市・新見市エリアで使う金額を教えてください。	• 列車アンケート同様。
4	今回の一連の外出において、庄原市・新見市以外の広島県・岡山県エリアで使う金額を教えてください。	• 列車アンケート同様。
5	あなたは芸備線に乗車したことがありますか。	• 乗車したことがある人は問6、ない人は問7へ分岐する。
6	問5で「乗車したことがある」と回答した人のみお答えください。 芸備線と比較して、このバスの利便性をどう感じますか。	• 運行ルート、運行時刻、運行本数、乗り心地等について5段階で評価を確認する。
7	もしこのバスが運行されておらず、芸備線と駅からのバス・タクシーだけが存在していた場合、どのように対応していましたか。	• 選択肢は「芸備線 + バス・タクシー / 一般タクシー / 自家用車 / レンタカー / 送迎 / 外出取りやめ / 県内の他地域へ外出 / 県外の他地域へ外出 / その他」とする。
8	もしバスも芸備線も存在しなかったとしたらどのように対応していましたか。	• 選択肢は「一般タクシー / 自家用車 / レンタカー / 送迎 / 外出取りやめ / 県内の他地域へ外出 / 県外の他地域へ外出 / その他」とする。